



NPO法人カタリバ 大槌臨学舎のみなさん

震災直後から小中学生の放課後学習を支えている「コラボ・スクール 大槌臨学舎」。小鎚の校舎から大槌高校に拠点を移し、6月24日（水）には大槌高校で開校式が行われました。今月は講師の坂本千紘さん（表紙右から2番目）にお話を伺いました。

放課後学習の充実

2015年から大槌のコラボ・スクールに關わっていて、今年で6年目を迎えました。コラボ・スクールでは、大槌学園、吉里吉里学園の7年生から9年生と高校生を対象にした放課後の学習支援と、身の回りの課題や関心をテーマに自らプロジェクトを立ち上げ実践する「マイプロジェクト」のサポートをしています。大槌は私にとって震災後初めて訪れた被災地で最初は「自分に何ができるのだろう」と不安でしたが、コラボ・スクールや吉里吉里小学校

で行っていた放課後の学習支援をとおして、子どもたちと触れ合うことでたくさん元気をもらい、いままで頑張ることができました。

今年はコロナウイルス感染症の影響で、3月の高校受験の直前に教室での授業ができなくなり、オンライン授業に切り替えるなどいろいろ大変でしたが、生徒のみんながとても頑張ってくれました。今もマスク着用や3密に気を付けながら授業に取り組んでいます。

コラボ・スクールでは長い期間、同じ生徒と関わることで生徒の成長を実感できるし、やりがいを感じます。

これからのコラボ・スクール

小鎚にあつた校舎から大槌高校に拠点が移ることでコラボ・スクールを利用している大槌学園の生徒は「一番身近な自分の未来」といえる高校生の姿を身近に感じて、卒業してからの自分の姿を具体的にイメージできるようになると思います。

これからコラボ・スクールが学園と大槌高校をつなぐきっかけ、そして地域と学校をつなぐきっかけになる場所になっていければと思います。